

ELECOM

セットアップガイド① ELD-RENシリーズ

USB3.0対応 外付HDDユニット

セットアップガイド① はじめにお読みください

ELD-RENシリーズ USB3.0接続用

クイックガイド②③も
必ずお読みください

このたびは、エレコム製のUSB3.0対応 ハードディスクをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
このセットアップガイド では、本製品の導入手順と基本操作について説明しています。
導入作業を始める前に、必ずウラ面の「取り扱い上のご注意」をお読みになったうえで、正しく導入作業をおこなってください。

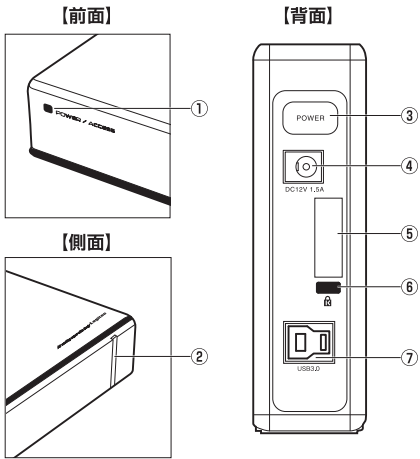
本製品は、人命にかかわる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器(医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係)への組み込み等は考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

パッケージ内容

- ☐ 製品本体
- ☐ USB3.0ケーブル
- ☐ セットアップガイド① はじめにお読みください (このシート)
- ☐ クイックガイド② テレビなどにつないで使う
＜オモテ＞レグザ／アクオスで本製品を使う
＜ウラ＞torne (トルネ) で本製品を使う／テレビとの
接続で困ったときは
- ☐ 横置き用ゴム足
- ☐ クイックガイド③ パソコンにつないで使う
- ☐ AC アダプタ
- ※横置きでご使用の際、底面の凹部(4ヶ所)に取り付けてご使用ください。

梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

各部の名称とはたらき



① アクセスランプ	消灯：電源が入っていません。 【パソコンに接続していないとき】 赤色 (点灯)：電源連動機能の待機状態です。USB ケーブルをパソコンに接続し、パソコンの電源を入れると、緑色に変わり本製品を使用できます。 【パソコンに接続しているとき】 緑色 (点灯)：本製品は使用可能です。 緑色 (点滅)：データアクセス中です。 赤色 (点灯)：ハードディスクのモータが停止し、省電力状態になっています。アクセスすると、緑色に変わり、本製品を使用できます。 この状態でパソコンから取り外さないでください。
② 縦置き用ゴム足	縦置きで使用する場合は、こちら側を下にして設置してください (取り外せません)。
③ 電源スイッチ	3 秒以上長押しすると、強制的に電源をオン/オフします。
④ 電源コネクタ	付属の AC アダプタの電源プラグを差し込みます。
⑤ 銘板シール	製品のシリアルナンバー (製造番号) が記載されています。
⑥ セキュリティスロット	盗難防止用ロックを装着するためのスロットです。 市販のケンジントンロック仕様の盗難防止用ロックを装着できます。
⑦ USBポート	USB3.0 に対応したタイプ B ポートです。 付属の USB ケーブルを使用して、本製品とパソコンを接続します。

！ 本製品は、USB パスパワーには対応していません。
必ず電源コネクタに AC アダプタを接続して使用してください。

製品仕様

製品型番	ELD-RENシリーズ
インターフェース	USB3.0/2.0
最大データ転送速度 (理論値)	5Gbps (USB3.0ポート接続時)
動作時環境条件	温度 5～35℃ 相対湿度 20%～80% (結露なきこと)
保管時環境条件	温度 -20～50℃ 相対湿度 20%～80%
入力電圧	AC100V、消費電力 TYP10W
外形寸法 (幅×奥×高さ)	35×183×120mm ※突起物含まず
質量	約850g
出荷時フォーマット形式	NTFS

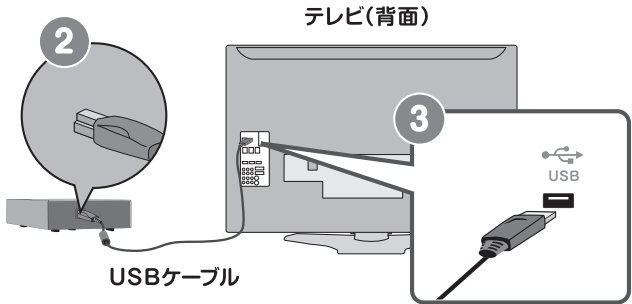
動作環境

- USB-HDD 録画対応のテレビ
※USB-HDD の対応状況は、各メーカーへご確認ください。
東芝製 REGZA (レグザ) シリーズ
シャープ製 AQUOS (アクオス) シリーズ
LB3、LV3、LX3、DZ3ラインではUSBハードディスク録画に対応していますが、パスパワーで動作しないため使用できません。
- LG製 INFINIA (インフィニア) シリーズ
- Playstation3 (torne)
- Windows XP 以降の DOS/V パソコン
- Mac OS X 10.4 以降の Macintosh

テレビとの接続について

あらかじめテレビの電源を入れておいてください

- ① 本製品を安定した水平な場所に設置します。
- ② 付属のUSBケーブルのコネクタを本製品のUSBポートに接続します。
- ③ 反対側のコネクタ (シリーズA側) をテレビのUSBポートに接続します。



左のイラストは、接続例です。
実際の接続は、テレビに付属のマニュアルをお読みください。

- テレビにUSBポートが複数ある場合
必ず、録画用のポートへ接続してください。接続先はテレビに付属のマニュアルをご確認ください。
- USBハブを利用する場合
USBハブを利用する場合の可否は、接続するテレビにより異なります。テレビに付属のマニュアルをご確認ください。

！ ● 本製品は、振動がない場所に水平に設置してください。

torne (トルネ) との接続について

！ 事前にパソコンで FAT32 形式にフォーマットしてからご使用ください。(2TBを越えるHDDは使用できません。)

接続方法の詳細は、クイックガイド②の「torne (トルネ) で本製品を使う」をお読みください。

→ウラ面もお読みください

本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
本書の内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡願います。
本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
本製品のうち、戦略物質または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
Microsoft®、Windows Vista®、Windows® は、米国 Microsoft 社の登録商標です。その他本書に掲載されている商品名／社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。
Mac、Mac OS、Macintosh は、Apple Inc. の商標です。
PlayStation、torne は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標または商標です。
その他本書に掲載されている商品名／社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

■保証規定

- 保証内容
1. 弊社が定める保証期間 (本製品ご購入日から起算されます。) 内に適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または同等製品への交換をいたします。
 - 無償保証範囲
 2. 以下の場合には、保証対象外となります。
 - (1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合
 - (2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、または本製品のご購入日が確認できる証明書 (レシート・納品書など) をご提示いただけない場合。
 - (3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
 - (4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による本製品の改造、分解、修理が行われている場合。
 - (5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
 - (6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
 - (7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
 - (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
 - (9) その他、無償修理または交換が認められない合理的な事由が発見された場合。
 - (10) 本製品を日本国外で購入された場合。
 - 修理
 3. 修理のご依頼は、保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
 4. 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段 (宅配や簡易書留など) をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
 5. 修理もしくは同等機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただきます場合があります。
 6. 有償、無償にかかわらず修理等により交換された本製品またはその部品等は返却いたしかねます。
 7. 記録メディア・ストレージ製品において、弊社修理センターにてドライブ交換、製品交換を実施した際にはデータの保全を行わず全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願いいたします。
 8. 本規定における故障とは、本製品が本製品の仕様定めるとおりに機能しないことをいいます。外観損傷 (本製品の傷や破損) については、保証対象外となりますので、外観損傷に対する修理・修繕は行いません。
 - 免責事項
 9. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
 10. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償・復旧につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■有効期間

11. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。日本国外ではその国の法律・規制により使用できない、もしくは罰せられることがあります。弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

ELECOM 保証書

製品名 ☐ ELD-RENシリーズ	保証期間 ご購入日から 3 年 間
★お客様ご記入欄 フリガナ お名前 ご住所 〒 TEL () -	お客様の正常なご使用状態で万一破損した場合は、保証規定に記載された期間、規定のもとに修理をいたします。 修理をご依頼の際は、必ず本保証書を添付してください。また、保証の再発行は行いませんので紛失しないように大切に保管してください。 ★の印は、お客様にご記入いただくものです。 ☆の印は、販売店にてご記入いただくものです。 記入が無の場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。
☆ご販売店様 ご購入日 ご住所・店名・TEL・ご担当者名	■販売店様へ お客様へ商品をお渡しするときは、必ず☆印の欄に所定事項をご記入ください。記入漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられませんのでご注意ください。 ■ご販売店様欄が空白の場合 ご購入年月日より保証期間を起算します。 ご購入年月日を証明できる書類 (販売店様発行の保証書シール、レシート、納品書) を添付して修理をご依頼ください。

取り扱い上のご注意

■本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

■表示について

- ・この「取り扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う危険性がある項目です。
	注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
		三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。
		丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。
		塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装置について何か問題が発生した場合は、電源を切ったあと、お買い求めの販売店へご連絡いただくか、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

	警告
	●万一、異常が発生したとき。 本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。
	●異物を入れないでください。 通気孔などから、金属類や燃えやすいものを入れないでください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。万一、異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。
	●分解しないでください。 本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。特に電源内部は高電圧が多数あり、万一、触れると危険です。
	●ケーブル類を大切に ケーブル類は必ず本製品付属のものを使用し、以下の点に注意してください。取り扱いを誤ると、感電や火災の原因になります。 「物を載せない」「引っ張らない」「押し付けない」「折り曲げない」「加工しない」「束ねない」「器具具のそばで使用しない」
	●雷が鳴るなど、電圧の状態が不安定なときには使用しないでください。 ハードディスク内のデータが消失したり、故障の原因となります。
	●ケーブル類の抜き差しには注意してください。 □ケーブル類を差し込むとき、または抜くときは必ずコネクタを持って行ってください。無理にケーブルを引っ張るとケーブル類の一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。 □休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、ケーブル類を抜いてください。使用していないときにも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。 □ケーブル類を抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。
	●電源プラグの接触不良やトラッキング。 ケーブル類は次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。 ○ケーブル類は根元までしっかり差し込んでください。 ○ケーブル類はほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。
	●装置の上に物を置かないでください。 本製品の上に重いものや、水の入った容器類、または虫ピン、クリップなどの小さな金属類を置かないでください。故障や感電、火災の原因になります。
	●揮発性液体の近くの使用は避けてください。 マニキュア、ペディキュアや除光液などの揮発性液体は、装置の近くで使わないでください。装置の中に入って引火すると火災の原因になります。
	●日本国以外では使用しないでください。 この装置は日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより、国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており、この装置は適合していません。

	注意
	●通気孔はふさがないようにください。 加熱による火災、故障の原因となります。また、通気孔には埃が付着しないよう、定期的に点検し、清掃してください。その他、踏み台やブックエンドなど、装置本来の目的用途以外に使用しないでください。壊れたり倒れたりし、けがや故障の原因になります。
	●高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。 屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が厳しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
	●本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用/保管は避けてください。
	●ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。
	●浴室、洗面台、台所の流し台、洗濯機など水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。 電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。
	●装置の梱包用ポリ袋はお子様の手の届くところに置かないでください。 かぶったりすると窒息するおそれがあります。
	●コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。 発煙や接触不良などにより故障の原因になります。
	●ケーブルは足などをひっかけないように配線してください。 足をひっかけるとけがや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱気具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。
	●本製品の稼働中に接続ケーブルなどを抜かないでください。 データの損失や機器の故障の原因になります。
	●ケーブル類は必ず伸ばした状態で使用してください。 束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。
	●電源が入っている状態で本体に衝撃を与えないでください。 パソコンからアクセスを行っていない場合でも、ハードディスクドライブのヘッドはデータエリアにあります。また、パソコンから取り外し、電源がOFFの状態になっても完全にハードディスクドライブが停止するまで、約30秒かかります。本体を移動する場合は、30秒以上経過してからにしてください。衝撃によりデータを破壊する恐れがあります。
	●本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

サポートサービスについて

■ハードディスクサポートダイヤルについて

●Q&A、修理先の確認

URL <http://www.elecom.co.jp/support/>

●電話でのお問い合わせ TEL：0570-056-567

受付時間 10：00～19：00

月曜日～土曜日（祝日営業）（夏期、年末年始特別休業日を除く）

※おかけ間違いのないようご注意ください。



ホームページでも詳しい設定方法をご案内しています。



エレコム製ハードディスク
ポータル設定サイト

<http://www.elecom.co.jp/rd/elesup/029.html>

本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。また弊社では海外使用に関する、いかなるサービス、サポートも行っておりません。

テクニカルサポートにお電話される前に

お手数ですが、テクニカルサポートにお電話される前に、次の項目について確認してください。

- ◆ お電話される前に、パソコンを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
- ◆ 対象製品が取り付けられたパソコンの前から会話が可能な場合は、パソコンの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。

お調べいただきたい内容

- ◆ 使用しているOS
- ◆ 使用しているパソコンのメーカーおよび型番
- ◆ 具体的な現象
- ◆ 具体的な現象、事前にお客様が試みられた事項（あればお伝えください）

修理受付窓口のご案内

■修理について

- 修理依頼品については、下記に示す弊社修理受付窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店にご相談ください。
- 保証期間中の修理につきましては、保証規程に従い修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、有料となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますのであらかじめご了承ください。

■修理受付窓口（修理品送付先）

〒396-0111 長野県伊那市美すず8268-1000

エレコムグループ修理センター(3番窓口)

TEL. 0265-74-1423 FAX. 0265-74-1403

受付時間 9：00～12：00、13：00～17：00

営業日 月曜日～金曜日（祝日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

※ 弊社 Web サイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

※ お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいただけますよう、お願いいたします。

※ 上記電話番号では、修理依頼品や各種サービス* などに関するお問い合わせ以外は承っておりません。製品に関する技術的なお問い合わせや修理が必要かどうかについてのお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

※ オンサイト保守サービス、ピックアップサービスなどのサービスを指します。これらのサービスは対象製品が限定されています。また、有償の場合や対象期間内無償の場合など、内容は異なります。詳しくは弊社 Web サイトをご参照ください。

■修理ご依頼時の注意事項

- ・ お送りいただく際の送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 購入年月の確認できる保証書、またはレシート、保証書シールなど、ご購入日が確認できるものを修理依頼品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所／電話番号）」「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積り目の必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、修理依頼品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。
- ・ 弊社 Web サイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。
- ・ お送りいただく際の送付控えは、大切に保管願います。

■個人情報の取り扱いについて

修理依頼、製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上、アンケート調査等、これらの目的のために関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関、行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示いたしません。お客様の個人情報は細心の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。

USB3.0対応ハードディスク セットアップガイド① はじめにお読みください（ELD-RENシリーズ）用
2015年2月 第1版

ELECOM

© 2015 ELECOM CORPORATION All rights reserved.

USB3.0対応 外付HDDユニット

クイックガイド② テレビなどにつないで使う

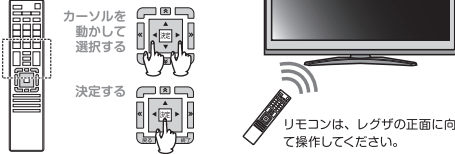
ELD-RENシリーズ USB3.0接続用

テレビ録画に利用する際のご注意

録画ファイルは、著作権保護のために専用形式で保存されます。録画をおこなったテレビ以外では、再生することはできません。同型のテレビ、パソコンへ接続した場合も再生できませんのでご注意ください。

レグザで本製品を使う Z9500の例

ここからは、レグザの画面を見ながら、レグザに付属のリモコンで操作します。リモコンの操作の詳細については、レグザに付属のマニュアルをお読みください。



登録をする

- 本製品をレグザに登録すると、レグザ専用機器となり、他の目的(パソコンと接続するなど)では使用できなくなります。パソコンで使用する場合は、OS で再フォーマットする必要があります。その際、本製品に保存したデータは消去されます。
- 登録中は、絶対にレグザの電源を切らないでください。本製品やレグザの故障の原因になることがあります。

本製品をレグザのUSBポートに接続すると、画面に「機器の登録」画面が表示されます。

- 1** 機器の登録
未登録のUSBハードディスクを検出しました。
USBハードディスクの登録を行いますか？
はい **いいえ**
 - 2** 機器の登録
登録を行うために、初期化を行います。
このUSBハードディスクの内容はすべて消去されます。
よろしいですか？
はい **いいえ**
 - 3** 機器の登録
登録名：ハードディスク1
登録名を変更しますか？
はい **いいえ**
 - 4** 機器の登録
USBハードディスクの登録が完了しました。
新しく録画/録画予約するときの録画機器を登録したハードディスクに変更しますか？
はい **いいえ**
 - 5** 機器の登録
接続 登録番号 登録名
接続中 USB1 ハードディスク1
- 表示される名称は、お客様ご使用の環境により異なることがあります。
● 本製品に割り当てた登録名・登録番号は、録画の際「録画機器」を選ぶときに必要です。必要に応じてメモしておいてください。

動作を確認する

- 1** レグザのリモコンの【設定メニュー】ボタンを押します。
※機種により位置は異なります。
- 2** 映像設定
音声設定
機能設定
レグザリンク設定
初期設定
設定メニュー

【レグザリンク設定】を選択して、
【決定】ボタンを押します。

- 3** USBハードディスク設定
LANハードディスク設定
SDメモリアカード設定
録画再生設定
HDMI運動設定
レグザリンク設定
- 4** 今すぐニュース設定
機器の登録
自動削除設定
省エネ設定
機器の取りはすし
動作テスト
機器の初期化
USBハードディスク設定
- 5** 動作テスト
接続 登録番号 動作 登録名
接続中 USB1 動作中 ハードディスク1
- 6** 動作テスト
USB1 ハードディスク1
録画 OK
録画中の再生 OK
録画中の早見早聞 OK

【USBハードディスク設定】を選択して、
【決定】ボタンを押します。

【動作テスト】を選択して、【決定】ボタンを押します。

接続したハードディスクを選択して、
【決定】ボタンを押します。

動作テストが終わるまで、数十秒お待ちください。

この画面が表示されたら、動作テストは完了です。【終了】ボタンを押します。

テスト内容と結果についての詳細は、レグザに付属のマニュアル「準備編」をお読みください。

これでハードディスクに録画する準備ができました。
以降はレグザに付属のマニュアルをお読みになり、
録画をおこないきましょう。

本製品の取り外し

ハードディスクを取り替えるときなど、本製品をレグザから取り外す場合は、次の手順でおこないます。

- 本製品を取り外すときは、必ず以下の手順でおこなってください。
レグザ側で操作せずに取り外すと、データが破損する恐れがあります。

- 1** 「動作を確認する」の手順 ①～③ をお読みになり、レグザの【USBハードディスク設定】メニューを表示させます。
- 2** 今すぐニュース設定
機器の登録
自動削除設定
省エネ設定
機器の取りはすし
動作テスト
機器の初期化
USBハードディスク設定
- 3** 機器の取りはすし
接続 登録番号 登録名
接続中 USB1 ハードディスク1
- 4** 機器の取りはすし
登録名：ハードディスク1
USBハードディスクを取りはすしますか？
はい **いいえ**
- 5** 機器の取りはすし
USBハードディスクを取りはすしできます。

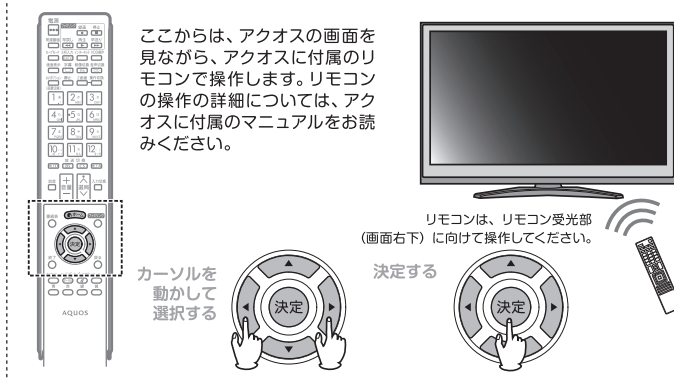
【機器の取りはすし】を選択して、
【決定】ボタンを押します。

取り外したいハードディスクを選択して、
【決定】ボタンを押します。

【はい】を選択して、
【決定】ボタンを押します。

この画面が表示されたら、本製品をレグザから取り外します。
取り外したあと、【終了】ボタンを押して、表示を消します。

アクオスで本製品を使う DZ3 ラインの例



ここからは、アクオスの画面を見ながら、アクオスに付属のリモコンで操作します。リモコンの操作の詳細については、アクオスに付属のマニュアルをお読みください。

リモコンは、リモコン受光部
(画面右下)に向けて操作してください。

カーソルを
動かして
選択する

決定する

機器の初期化

- 本製品を初期化すると、すでに格納されているデータはすべて消去されます。初期化後は元に戻せませんので、作業前に本製品の格納データを確認してください。
- 初期化中は、絶対にアクオスの電源を切らないでください。本製品やアクオスの故障の原因になることがあります。
- アクオス専用の形式でフォーマットされますので、初期化後はパソコンで使用できません。

- 1** 【ツール】ボタンを押して、ツールメニューを表示します。メニューから、
【USB-HDD設定】を選択して、
【決定】ボタンを押します。
- 2** 【機器の初期化】を選択します。
そのあと、【する】を選択して、
【決定】ボタンを押します。
- 3** 【する】を選択して、
【決定】ボタンを押します。
- 4** 【なし】、【10時間】、【20時間】、
【40時間】のいずれかを選択して、
【決定】ボタンを押します。

ツール	
1	お知らせタイマー
2	時計表示
3	AQUOSインフォメーション
4	タイマー機能
5	2画面
6	AVポジション (画像切換) (標準)
7	画面表示設定
8	USB-HDD設定
9	おしらせ (受信機レポート)

USB-HDDの選択	
[USB-HDD 1]	
機器の初期化	する しない
機器の登録解除	
機器の取りはすし	
常連録画設定	
省エネ設定	[する]
オートチャプター設定	[1 5分]

機器の初期化	
USB-HDDを本機での録画専用 に初期化します。	
接続機器数 1	[0]
接続機器 USB-HDD	[0]
登録台数 0台/16台	[0]
本機で認識していないUSB機器が 接続されています。 初期化を行いますか？	
する	しない

機器の初期化	
USB-HDD容量のうち、常連録画に 割り当てた時間を設定してください。	
常連録画機能：有効	
録画可能時間：約43時間	
常連録画時間：約0時間	
なし	
10時間	
20時間	
40時間	
常連録画とは、よく見る番組を テレビが学習し、自動で録画する 機能です。	

すべての容量を通常の録画に使用する場合は、
【なし】を選択してください。

【する】を選択して、
【決定】ボタンを押します。
初期化が実行されますので、しばらくお待ちください。

初期化中は、本製品のアクセスLEDが点滅します。

右の画面が表示されれば、初期化は完了です。
【決定】ボタンを押して、終了します。

初期化完了後、録画する機器を選択して終了します。

これでハードディスクに録画する準備ができました。
以降はアクオスに付属のマニュアルをお読みになり、
録画をおこないきましょう。

アクオスの設定項目 (USB-HDD 設定メニュー)

ここでは、【USB-HDD設定】メニューの各項目について説明します。
メニューの表示手順は「機器の初期化」の手順 ① をお読みください。

- 設定項目についての詳細は、アクオスに付属のマニュアルをお読みください。

- **USB-HDD の選択**
複数のハードディスクを接続している場合に、操作するハードディスクを切り替えます。
- **機器の初期化**
ハードディスクを初期化します (→機器の初期化)。
- **機器の登録解除**
アクオスで一度に使用できるハードディスクは1台ですが、複数台のハードディスクを「登録」しておき、入れ替えて使用できます。
「機器の登録解除」は、登録しておいたハードディスクを別の機種に入れ替えるときなど、ハードディスクの登録を解除する場合に使用します。

- 「機器の登録解除」をおこなうと、録画したデータはすべて消去されます。

- **機器の取りはすし**
ハードディスクをアクオスから取り外すときに使用します (→本製品の取り外し)。
- **常連録画設定**
毎日同じ時間帯の番組を定期的に録画し続ける機能、「常連録画機能」の設定です。
- **省エネ設定**
ハードディスクを使用していないときに、消費電力を抑えるための設定です。
- **オートチャプター設定**
一定間隔でチャプターマークを自動的に入れる設定です。

本製品の取り外し

ハードディスクを取り替えるときなど、本製品をアクオスから取り外す場合は、次の手順でおこないます。

- 本製品を取り外すときは、必ず以下の手順でおこなってください。
アクオス側で操作せずに取り外すと、データが破損する恐れがあります。

- 1** 「機器の初期化」の手順 ① をお読みになり、
【USB-HDD設定】メニューを表示させます。
- 2** 【機器の取りはすし】を選択して、
【決定】ボタンを押します。
- 3** 【取りはすし】を選択して、
【決定】ボタンを押します。
取り外しが完了するまで、しばらくお待ちください。
- 4** 右の画面が表示されれば、取り外しは完了です。
【決定】ボタンを押して、この画面を閉じます。
本製品をアクオスから取り外します。

機器の初期化	
機器の登録解除	
機器の取りはすし	
常連録画設定	
省エネ設定	[する]
オートチャプター設定	[1 5分]

機器の取りはすし	
接続されているUSB機器を 取り外します。	
取りはすし	

機器の取りはすし	
USB-HDDは安全に 取りはすすることができます。	
確認	
USB-HDDを取り外して下さい。 USB-HDDをそのまま 使用する際も、一度取りはすして 再度接続してください。	

→ウラ面もお読みください

torne（トルネ）で本製品を使う

❗ **2TBを超えるHDDは使用できません。**

❗ 事前にパソコンで、FAT32 形式にフォーマットしてからご使用ください。
FAT32 形式でフォーマットするには、「Logitech ディスクフォーマッタ」をご利用ください。「Logitech ディスクフォーマッタ」は、弊社ホームページでダウンロード提供しています。

1 付属のUSBケーブルのコネクタ（シリーズB側、小さいコネクタ）を本製品のUSBポートに接続します。

2 反対側のコネクタ（シリーズA側、大きいコネクタ）をPlayStation3のUSBポートに接続します。

❗ **本製品は PlayStation3 に接続してください。torne に直接接続しても録画できません。**

3 torneとPlayStation3を接続し、各機器の電源を入れます。

❗ **本製品に電源スイッチはありません。PlayStation3 の電源を入れると、自動的に電源が入ります。**

4 トップ画面で「SETTINGS セッテイ」を選択して、コントローラの○ボタンを押します。

5 「録画設定」－「ハードディスク情報」－「未登録ハードディスク」を順に選択します。選択は、コントローラの○ボタンを押します。

6 画面の指示にしたがい、本製品の登録をおこないます。

7 「ハードディスク情報」が再度表示されて、本製品の登録が完了し、torneでの録画が可能になります。

❗ ●長い番組を録画した場合は、自動的にファイルが分割されますが、torne 上では1つのビデオとして扱われます。
●torneには、外付けハードディスクは最大で 8 台まで登録することができます。また、USB ハブを使用すれば、最大で 4 台まで同時に接続して使用することができます。

本製品の取り外し

PlayStation3の電源を切ってから、本製品を取り外してください。

テレビとの接続で困ったときは

テクニカルサポートにお問い合わせの前に、こちらをお読みください。

<共通編>

Q 録画予約ができません

A ○ ハードディスクの電源が入っていること。USBケーブルがテレビとハードディスク両方に正しく差し込まれていることを確認してください。
○ テレビ本体の電源スイッチを切ると、録画が実行されません。
リモコンの電源ボタンでお切りください。
○ 録画したデータがハードディスクいっぱいになると予約できなくなります。不要なデータを削除してから再度予約を試みてください。

Q テレビの電源を切っても、ハードディスクのランプが点灯したままです

A ランプの点灯は待機状態を示しています。故障ではありません。
予約録画の実行には、ハードディスクの電源が入っている必要があります。
しばらくお使いにならない場合は、ハードディスク本体背面の電源スイッチを操作することで、電源を切ることができます。
ただし、電源が切れた状態では予約録画が実行されません。

Q ハードディスクを他のテレビにつないでも、録画データは見れますか？

A 他のテレビ（同じメーカー・型番も含む）では、録画した番組を見ることはできません。
録画したデータには、個々の機器固有の暗号化が施されていますので、録画したテレビに接続してご覧ください。
暗号化は、著作権保護を目的とした仕様によるものです。

Q ハードディスクをパソコンにつないでも、録画データが見れません

A パソコンでは録画した番組を見ることはできません。
録画したデータには、個々の機器固有の暗号化が施されていますので、録画したテレビに接続してご覧ください。
暗号化は、著作権保護を目的とした仕様によるものです。

Q 録画した番組は、恒久的に保存できますか？

A ハードディスクへの録画は長期保存を想定していません。
大切な番組は、ブルーレイディスクレコーダやDVDレコーダ、ビデオなど、他の機器に録画することをお勧めします。

Q ハードディスクは同時に複数台接続できますか？

A 機種によって異なります。詳細は、お使いの機種に付属のマニュアルをお読みください。

Q ハードディスクを修理する場合、録画した番組はダビングできますか？

A ハードディスクに録画した番組はダビングできません。
大切な番組は、ブルーレイディスクレコーダやDVDレコーダ、ビデオなど、他の機器に録画することをお勧めします。

Q 早送り、早戻し時に映像が止まってしまいます

A いったんテレビの電源を切り、再度電源を入れ直してください。
そのあと、もう一度再生してみてください。

Q ハードディスクの動作音が気になります

A ハードディスクは、機器の特性上、特に起動時や録画／再生時にモータが高速回転します。
これにより、動作音が大きくなることがありますが、異常ではありません。

Q ハードディスクの登録をうっかり解除してしまいました

A もう一度ハードディスクを登録してください。ただし、ハードディスクを再登録した場合、再登録より以前に録画した番組は視聴できなくなります。

Q 録画中にテレビの電源を切ってもかまいませんか？

A テレビのリモコンの電源ボタンで電源を切ってください。
テレビ本体の主電源、またはハードディスクの電源を切らないかぎり、録画は継続されます。

Q とくどき録画できないことがあります

A ○ USBハブを経由して接続している場合、録画に失敗することがあります。
その場合は、USBハブを使用せず、直接テレビとハードディスクを接続してみてください。
○ ハードディスクが接続されているコンセント、電源タップなどに電力使用量の大きいものが接続されている場合は、他の電源からとるように接続し直してみてください。

Q 推奨する設置場所がありますか？

A ハードディスクは熱に弱い精密機器です。放熱のため、風通しの良い場所に設置してください。また、振動がない場所に水平になるように設置してください。

<レグザ編>

Q ハードディスクの登録画面が表示されません（初めて接続したとき）

A 複数のハードディスクを接続して、まとめて初期登録しようとしていませんか。
ハードディスクの初期登録は1台ずつおこなう必要があります。
登録に失敗した場合は、次の手順でもう一度やり直してください。

- (1) ハードディスクのランプが点滅していないことを確認してから、ハードディスクの電源を切ります。
- (2) ハードディスク本体のUSBケーブルを抜き、もう一度差し込みます。
- (3) ハードディスクの電源を入れて、登録画面が表示されるか確認します。

Q 再生、録画していないのに、ハードディスクが停止しません

A これは異常ではありません。
レグザ側の設定メニューの [レグザリンク設定] → [USBハードディスク設定] → [省エネ設定] を「省エネモード」にすることで、録画／再生していないときにハードディスクの回転を止めることができます。
操作方法については、レグザに付属のマニュアル「準備編」をお読みください。

Q 録画したデータが消えてしまいました

A まず、ハードディスクの電源が入ること、USBケーブルがレグザとハードディスク両方に正しく差し込まれていることを確認してください。
レグザにハードディスクが正常に登録されていてもデータが見えない場合は、次の点を確認してください。

- データをムーブした場合、元のハードディスクにデータは残りません。
ムーブ先を確認してください。
- レグザ出荷時の初期状態では、ハードディスクの容量がいっぱいになると古いデータから自動的に削除される設定になっています（自動削除設定）。設定を変更したい場合は、レグザ付属のマニュアル「準備編」をお読みください。

Q レグザの電源が切れていますが、予約録画は実行されますか？

A レグザ本体の主電源、またはハードディスクの電源を切らないかぎり、予約録画は実行されます。録画予約状態では、レグザ正面右下のランプがオレンジに光ります。

Q 「今すぐニュース」のニュースが古いのですが

A 「今すぐニュース」の初期設定では、地デジのNHK総合 午前6:00の番組以降が自動録画されますが、曜日、時間帯によっては半日以上古いニュースが再生されます。初期設定ではない、任意の番組の録画に変更すると、改善されることがあります。レグザ付属のマニュアル「準備編」をお読みになり、設定を変更してみてください。

Q 「今すぐニュース」が録画されないことがあります

A 「2番組同時録画」と「今すぐニュース」の録画が重なった場合は、「2番組同時録画」が優先されます。このとき、「今すぐニュース」の録画は途中で解除されます。

Q レグザの電源を入れたと、「USB ハードディスクが接続されていない」と表示されます

A ハードディスクの起動準備ができていない場合にレグザの電源を入れると、このメッセージが表示されることがあります。数十秒間待っても接続が確認できない場合は、レグザ本体の電源を切り電源プラグを抜いたあと、ハードディスクの電源を切り、再度電源を入れ直して認識するかどうか確認してください。

<アクオス編>

Q ハードディスクの初期化ができません

A ハードディスクを初期化する際は、テレビには1台のみ接続してください。
USBハブを経由して複数のハードディスクを接続しないでください。

Q テレビの省エネ設定を「する」にしても、ハードディスクの電源が切れません

A 省エネ設定を「する」にした場合、約15分以上待機状態が続くと、ハードディスクのモーターの回転が止まります。
ただし、電源ランプは待機状態を示すため点灯したままとなります。



最新のサポート情報はこちら

<http://www.elecom.co.jp/rd/elesup/029.html>

USB3.0対応ハードディスク クイックガイド② テレビなどにつないで使う(ELD-RENシリーズ) 用
2015年2月 第1版

ELECOM

© 2015 ELECOM CORPORATION All rights reserved.

USB3.0対応 外付HDDユニット

クイックガイド③ パソコンにつないで使う

ELD-RENシリーズ USB3.0接続用

STEP 1

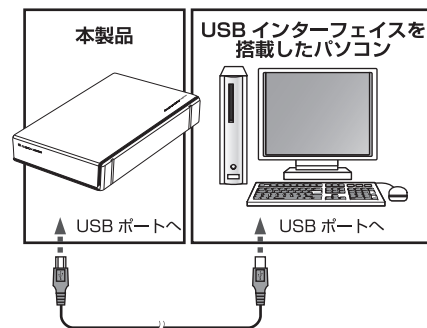
本製品をパソコンと接続する

- 3TB以上のモデルをWindows XPで使う場合は、専用フォーマッタによる再フォーマットが必要です。
- USB2.0へ接続した場合は、USB2.0の転送速度に制限されます。
- パソコンの電源を入れ、WindowsやMac OSを起動しておいてください。
- 工場出荷時の状態では、本製品は「NTFS形式」でフォーマットされています。Windows 7、Vistaの場合は接続後してそのまま使用できますが、テレビやMacintoshなどの異なる環境での場合は接続後にフォーマットが必要です。
→STEP2「お使いのパソコンで使用できるようにする」をお読みください。

- 1 付属のUSB 3.0ケーブルのコネクタを本製品のUSBポートに接続し、反対側のコネクタ（シリーズA側）をパソコンのUSBポートに直接接続します。

- 2 本体のアクセラランプが緑色に点灯し、パソコンに認識されます。

アクセラランプが緑色に点灯しない場合は、USBケーブルが正しく接続されているかを確認してください。



STEP 2

お使いのパソコンで使用できるようにする

2-1 Windows 8.1, 8, 7, Vista で使用する場合

接続してそのまま利用できます。

2-2 Windows XP で使用する場合

※Windows XPで利用する場合、3TB以上のモデルは出荷時のままでは動作しません。
エレコムのホームページより専用フォーマッタをダウンロードして再フォーマットしてください。

<http://www.elecom.co.jp/support/download/>

2TB以下モデルは、接続してそのまま利用できます。

本製品をパソコンに接続し、接続したハードディスクがパソコンに認識されたかどうかを確認します。
「マイコンピュータ（Vista以降では「コンピュータ」）に「LOGITEC HD」のアイコンが新しく追加されていれば、正常に認識できています。
これで本製品のセットアップは完了です。

※右の図はFドライブとして認識した場合です。



↓ 次のページに続きます。

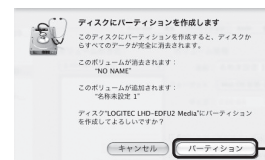
↑ 前のページの続き

2-3 Macintosh で使用する場合

- 本製品を初期化すると、本製品に記録されているすべてのデータが消去されます。
- 本製品はフォーマット形式の問題により、再フォーマットが必要です。
接続した後は、「Macintosh環境でのフォーマット手順」を参照して、フォーマットをおこなってください。
- Intel Mac以降のMacintoshシリーズでお使いください。

Macintosh 環境でのフォーマット手順

- 1 「アプリケーション」-「ユーティリティ」フォルダ内より「ディスクユーティリティ」を起動します。
- 2 フォーマットを行うドライブを選択し、「パーティション」タブを選択します。
- 3 「ボリュームの方式：」にてパーティション数を選択します。
- 4 「オプション」ボタンをクリックします。
- 5 「GUIDパーティションテーブル」もしくは「Appleパーティションマップ」のいずれかを選択し、「OK」ボタンをクリックします。
- 6 以下のように選択して右下の「適用」ボタンをクリックします。
名前：（任意のボリューム名を入力してください）
フォーマット：Mac OS 拡張（ジャーナリング）
- 7 警告メッセージが表示されますので、そのまま「パーティション」ボタンをクリックします。
- 8 作業工程を表すグラフが表示され、作業が終了し「パーティション」タブ画面に戻りましたら、「ディスクユーティリティ」を終了します。
Mac OS 拡張フォーマットされ、デスクトップ上にアイコンがマウントされるようになります。



「パーティション」をクリックしてください

- 4 「オプション」ボタンをクリックします。

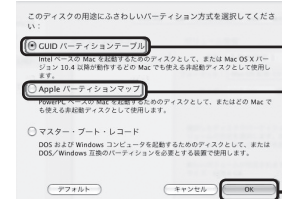


「パーティション」タブを選択してください

「パーティション数」を選択してください

「オプション」を選択してください

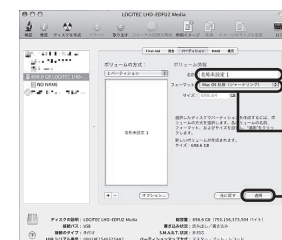
- 5 「GUIDパーティションテーブル」もしくは「Appleパーティションマップ」のいずれかを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



「GUIDパーティションテーブル」もしくは「Appleパーティションマップ」のいずれかを選択してください。

「OK」をクリックしてください

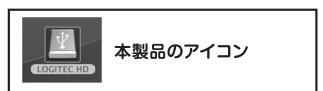
- 6 以下のように選択して右下の「適用」ボタンをクリックします。
名前：（任意のボリューム名を入力してください）
フォーマット：Mac OS 拡張（ジャーナリング）



任意のボリューム名を入力してください

「Macos拡張（ジャーナリング）」を選択してください

「適用」をクリックしてください



本製品のアイコン

→ウラ面もお読みください

本製品の取り外しは、次の手順でおこないます。ご使用の環境の説明をお読みください。



本製品をパソコンから取り外す前に、本製品内に保存されているデータファイルが開かれていないこと、本製品へのアクセスがおこなわれていないこと（本体のアクセスランプが消灯していること）を確認してください。本製品内に保存されたデータファイルを開いている状態、および本製品へのアクセス中に取り外しをおこなうと、本製品内のデータが破損・消失する恐れがあります。

Windows環境

- 1** タスクトレイにある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。アイコンの形状はOSにより異なります。

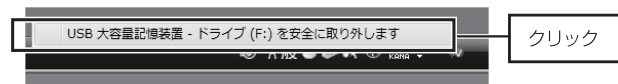


Windows 8.1, 8, 7
Windows Vista



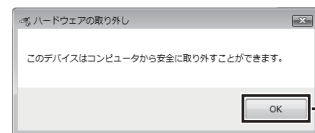
Windows XP

- 2** USB記憶装置を取り外すメッセージが表示されますので、メッセージをクリックします。



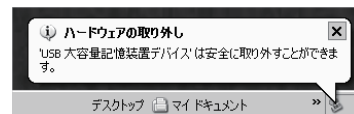
* 左の図は F ドライブとして認識している場合です。

- 3** 「安全に取り外すことができます」と表示されたら、USBケーブルを取り外します。これで取り外しは完了です。



Windows 8.1, 8, 7
Windows Vista

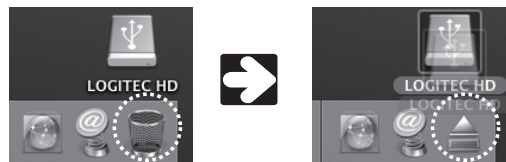
クリック



Windows XP

Macintosh環境

本製品のアイコンをドラッグ&ドロップし、デスクトップのDockにある「取り外し」アイコンに重ねます。そのあと、ご使用のインターフェースのケーブルを取り外します。これで取り外しは完了です。



「取り外し」アイコンは、通常はゴミ箱の形をしています。本製品のアイコンを選択すると、「取り外し」アイコンに形状が変わります。

ソフトウェアについて

弊社ホームページでは、ハードディスクユニットを快適に使用するために、便利なソフトウェアをダウンロード提供しています。必要に応じてご活用ください。
ここで紹介するソフトウェアは、Windows環境のみで使用になります。

<http://www.elecom.co.jp/support/download/>



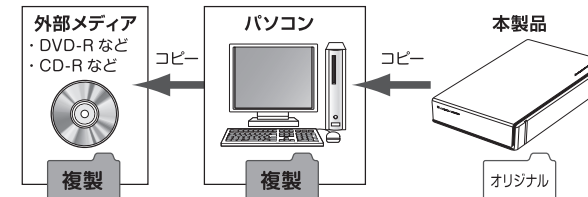
最新のサポート情報はこちら
<http://www.elecom.co.jp/rd/elesup/029.html>



ソフトウェアによっては、ダウンロード製品のシリアルナンバー（製造番号）の入力が必要になることがあります。シリアルナンバーは製品本体の銘板シールでご確認ください。

■バックアップについて （万一に備えて、定期的なデータのバックアップを強く推奨します）

本製品に保存されたデータについては、理由を問わず一切の保証はいたしかねます。ウィルス、誤操作、落雷などの自然災害、経年劣化や不慮の事故等による製品故障などに備え、バックアップ（データの複製）をお願いします。バックアップとは、本製品以外の場所にも、データの複製を作成しておき、万が一の際は複製のデータを利用して損害を最小限にすることです。



■廃棄、譲渡時のデータ消去に関するご注意

ご利用の製品を廃棄等される場合には、以下の事項にご注意ください。

- ハードディスクを廃棄あるいは譲渡する際、記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。
- ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」をおこなっただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないよう、全データ消去の対策をお願いします。また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなく譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾に抵触する場合がありますのでご注意ください。
お客様のデータが漏洩することによる、いかなるトラブルも弊社はその責任を負い兼ねますのであらかじめご承知おください。

■ハードディスクを廃棄する場合

ご使用の製品を廃棄される場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

データ消去サービスのご案内

エレコムグループでは、ハードディスクのデータを完全に消去するサービスを有償にておこなっております。重要なデータの保存に利用したハードディスクを廃棄する場合などにご利用ください。データ消去サービスの詳細については、ロジテック社のホームページで紹介しております。

◆Logitecデータ復旧技術センター
http://www.logitec.co.jp/data_recovery/

⚠ データの取り扱いについて

- ・ 万一、盗難等によりハードディスク内にあるお客様の個人情報流出した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。大切なデータを管理するため、盗難防止など、必要な処置を講じておくようお願いいたします。
- ・ ハードディスクドライブは消耗品です。不適切な使用や電氣的ノイズ、静電気による障害、強い衝撃、落雷などの天変地災により故障する場合があります。重要なデータは万一に備えて必ず他のメディアにバックアップを取っておくようお願いいたします。
- ・ 不適切な使用や故障の結果生じたデータの直接的または間接的な損害については、弊社では一切の保証をいたしません。
- ・ 本製品に保存したデータの消去については、いかなる運用形態にかかわらず、弊社では一切その責任を負いません。